

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月12日更新

事務事業名	生活支援体制整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	福祉の健康		所属部	健康福祉部	課長名 佐藤 美和
	施策	7	高齢者の自立と支援体制の充実		所属課	高齢者支援課	担当者名 矢幡 茜
	施策の柱	28	高齢者の生活支援の充実		所属班	包括支援センター班	(内線) 1626
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	合志市生活支援体制整備事業実施要綱
		11	3	8	11651		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・生活支援等サービスの体制整備にあたっては、市が中心となって、元気な高齢者をはじめ、住民が担い手として参加する住民主体の活動や、NPO、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、協同組合、民間企業、シルバー人材センターなどの多様な主体による多様なサービスの提供体制を構築し、高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進する。 ・第1層・第2層生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を配置し、「協議体」を開催することで、互助を基本とした生活支援等サービスを創出していくよう取組む。また、地域の要援護高齢者等の生活支援を担う人材(訪問Aの元気応援サポーターなど)を育成し、ネットワークを構築し地域福祉の向上及び住民同士のつながりの再構築を目的に、生活・介護支援サポーター養成講座を開催する。
【業務の流れ】	第1層・第2層生活支援コーディネーターの選出(市社会福祉協議会・NPO法人へ委託)、生活支援協議体の組織を運営し会議の開催、高齢者の通いの場等の地域資源の掘り起こし、地域高齢者のニーズ把握、ニーズとサービスのマッチング等
【主な予算費目】	職員手当等・報償費・役務費・委託料
【意見や要望】	高齢者が歩いて通える場所に、住民主体のボランティア等様々な主体による通いの場を創出することが急務である。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	生活支援協議体本会を3回、協議体分科会を4回開催し、コロナ禍における通いの場や移動支援について協議を行った。地域元気フォーラムを開催した(参加者36人)。生活・介護支援サポーター養成講座を全9回開催した(6人参加)。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		生活支援協議体を4回、協議体分科会を4回開催。買い物支援パンフレットの作成。第1層、第2層生活支援コーディネーターを配置し、地域(生活)課題の把握・調査を行い、更なる地域資源の掘り起こしや通いの場の益々の充実を図る。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 生活支援協議体開催回数	回	生活支援コーディネーター一人件費の増による委託料の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
地域づくり・課題等を話し合う場として様々な団体が参加する「生活支援協議体」	人	→ ア: 生活支援協議体参加延べ人数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 項目	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
生活支援協議体に出来るだけ多くの、様々な団体が参加するようになる。	項目	→ ア: 課題として検討した項目数
*③成果指標設定の理由と4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
生活支援協議体に出来るだけ多くの、様々な団体が参加することで、地域課題等が活発に話し合われるようになり、地域課題解決、また住民主体の通いの場の創出等につながる。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度実績(決算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	5年度予定	6年度見込	7年度見込	
① 活動指標	回	回	8	6	8	7	8	8	8	8	
② 対象指標	人	人	94	78	80	89	80	80	80	80	
③ 成果指標	項目	項目	2	3	2	2	2	2	2	2	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	2,597	1,728	2,599	2,507	2,731	2,731	2,731	2,731
		都道府県支出金	千円	1,298	864	1,300	1,254	1,366	1,366	1,366	1,366
		地方債	千円								
		その他	千円	1,551	1,032	1,552	1,497	1,631	1,631	1,631	1,631
		繰入金	千円	1,298	864	1,300	1,254	1,366	1,366	1,366	1,366
	一般財源	(A) 事業費計	千円	6,744	4,488	6,751	6,512	7,094	7,094	7,094	7,094
		(A)のうち指定経費	千円	293	0	0	2	0	454	454	454
		(A)のうち時間外、特勤	千円	3	0	0	2	0	44	44	44
		正規職員従事人数	人	3	4	4	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	530	415	450	830	450	450	450	450
(B) 人件費計	千円	2,100	1,636	1,792	3,245	1,792	1,792	1,792	1,792		
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,844	6,124	8,543	9,757	8,886	8,886	8,886	8,886		

事務事業名	生活支援体制整備事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 協議体開催により、抽出した課題の中から情報を共有し、解決に向けた議論ができた。また、協議のなか買い物支援の一つとして買い物支援ガイドの作成をすることができた。
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 協議体開催を継続し、課題に対する解決方法に向けた協議を実施していく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 地域ケア会議で課題の抽出を行い、協議体の中で課題の協議や事業の検討を行っていくことで、事業の構築に繋がると考えられる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 国の指針により設置しているため、事業の統廃合が難しい。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 生活支援コーディネーター派遣に関する委託料がほとんどであり、削減の余地がない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限で行っている。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 法の趣旨に基づく事業であり、適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 介護保険法に基づき実施しているため適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

生活支援協議体を開催し、各種団体の代表の参加のもと様々な地域の課題を解決するための議論ができた。また、協議の中で、買い物支援ガイド作成が支援の一つとして必要だと意見が出たことで、買い物支援ガイドの作成に繋がった。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						